

学校評議会議事録

日 時 令和 4 年 9 月 17 日 (土) 13:00～15:00

出席者 ●学校評議員

兵庫県立はりま姫路総合医療センター	診療放射線技師
神戸市立医療センター中央市民病院	臨床工学技士
三木山陽病院	視能訓練士
神戸百年記念病院	理学療法士
株式会社セラピット	作業療法士
朗源会 大隈病院	言語聴覚士

●学校職員

学校長 各科 1 名 事務担当者 2 名

学校評議員の欠席者 なし

司会 学校評議会開会の挨拶

学校長 本来なら評議員の皆様には来校いただき、ご意見等を伺いたいところでしたが、このコロナの状況を鑑み医療職の皆様にご迷惑にならないよう、万が一に備え今回遠隔で実施させていただくこととしましたのでご了承願います。また、本校で、7月7日に本館5階の診療放射線科で放火事件が起きました。幸いにも早朝ということで、教職員及び学生にはけが人はありませんでしたし、学生の精神面についても心配していましたが、問題はありませんでした。現在、改修工事も始まり、授業・試験に支障もなく平穩に経過している状況です。事件については、警察から捜査状況の報告はありませんのでわからない状況です。

今回の学校評議会では、先生方の貴重なご意見を伺い、学校運営に活かしたいので、よろしくお願いいたします。

司会 本日の出席者を紹介の後、議長は司会が兼任することを了承いただき進行。
学校評議員を学科の建制順に紹介し、その後学校長をはじめ各学科代表者を紹介。
議事録署名人に評議員 2 名、書記に事務担当者 1 名を選出。

議長 議事に移り各担当の先生方から説明をお願いします。

【議 事】

1. ガバナンスについて

学校長：・学校運営について(自己評価報告書；18～22 ページ)

運営方針/事業計画/運営組織/人事・給与制度/意思決定システム/
コンプライアンス体制/情報システム

・財務について(自己評価報告書；23～24 ページ)

財務基盤/予算・収支計画/監査/財務情報の公開

・法令等の遵守について(自己評価報告書；25～27 ページ)

関係法令、設置基準等の遵守/個人情報保護/学校評価/教育情報の公開

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった。)

2. 教育について

教員：・教育理念・目的・育成人材像について(自己評価報告書；28 ページ)

理念・目的・育成人材像

・教育活動について(自己評価報告書；29～32 ページ)

目標の設定/教育方法・評価/成績評価・単位認定/教職員組織

・学修成果について(自己評価報告書；33～35 ページ)

就職率/資格・免許の取得率/卒業生の社会評価

・学生の募集と受入れについて(自己評価報告書；36～38 ページ)

学生募集活動/入学選考/学納金

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった。)

3. 学生支援について

教員：・学生支援について(自己評価報告書；39～46 ページ)

就職等進路/学生相談/学生生活支援/保護者との連携/卒業生・社会人

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった。)

4. 環境整備について

5. 社会貢献・地域連携について

教員：・教育環境について(自己評価報告書；47～50 ページ)

施設・設備等/学外実習・インターンシップ等/防災・安全管理

・社会貢献・地域連携について(自己評価報告書；51～52 ページ)

社会貢献・地域連携

について目標・現状・課題と改善策など重点項目を説明。

(質問・意見等はなかった。)

議長 引き続き学科からの報告をお願いします。

【学科報告】

診療放射線科

教員： 診療放射線科の報告（自己評価報告書；53～54 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 国家試験の合格率が令和 2 年度に比べ令和 3 年度がかなり低くなっています。原因は何か考えておられるでしょうか。国家試験の合格率は、数字が表に出てしまうので今後の受験者数にも影響して来ると思われます。対応を説明願います。

それと、診療放射線科だけではないと思いますが、就職試験での面接への対応が大学生に比べて弱く感じました。学力的には差がないが面接で落とされるケースが多く見受

けられます。非常にもったいない。面接の練習にも力を入れ、話す内容も考えてから臨んでいただければと思います。

教員： 令和3年度卒業生の入学時の受験者数が例年に比べ少なかった。卒業試験も少し易しすぎたように思える。今後の対応については、学科内で検討しているところです。

就職試験での面接への学生対応については、学科内で対応策を考えていきたい。

臨床工学科

教員： 臨床工学科の報告（自己評価報告書；55～56 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 第2種 ME 技術検定試験が国家試験と相関あるということを調べられ、対策を取られることにより国家試験合格率 100%というのはすごいことだと思いますが、専修学校として国家試験合格率 100%に比して就職率約 60%というのはどうか。就職の対策を今後、考えていかなければいけない課題であると思います。

教員： 5 月時点の就職率 60%から、その後もサポートも続けており、現在未就職が 4 名という状況です。引き続きサポートを続けて行く予定です。在校生についても面接指導・履歴書添削などで学生が就職に前向きになるよう指導しているところです。

視能訓練士科

教員： 視能訓練士科の報告（自己評価報告書；57～58 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 国家試験合格率・就職率 100%というすばらしい成績を上げられ、卒業生としてもうれしい限りです。今後は、視能訓練士の認知度を高めていきたいと思います。また、臨床実習施設の確保ですが、当院でも新型コロナウイルスの影響でいろいろ制限がかかっている状況の中ですが、今後検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

理学療法士科

教員： 理学療法士科の報告（自己評価報告書；59～60 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： コロナ禍の中、実習から国家試験まで非常に大変だったと思いますが、国家試験の合格率も高かったので安心しております。ただ、1 点気になったのは、新カリキュラム導入についてですが、先ほどの報告で、留年生や退学者が減少しているとのことで本当に良かったと思いますが、学修量も増え、学生も大変だと思いますので、やりがいや楽しさを補える部分にも力を入れていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

教員： 学生にも楽しく学べるようにはと思っています。今後も工夫を続けて行きたいと思います。

作業療法士科

教員： 作業療法士科の報告（自己評価報告書；61～62 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 先ほどの報告の中で、新カリキュラムとなり、547 時間の学修量が増えているということで、私が教育を受けていた時よりもかなりの知識量は増えているという印象を受けて聞いていましたが、最後に学力低下をしまっている学生のフォローされているとのことでしたが、そのあたりどのようにフォローされているのか教えてほしい。

教員： 時間割以外で放課後、残って勉強している所へ、1 年の担任、副担任が中心となって入って行って、教えている。補講も運動学、解剖学をしっかり行っている。補講している中で、個々の学生の普段の生活面などの話も聞き、困っていることを把握するようにしている。

評議員： 個別性を確認しながら、コロナ禍の中、大変な状況で実習施設も確保も難しい状況で皆さん頑張っておられるのがよく分かりました。ありがとうございました。

言語聴覚士科

教員： 言語聴覚士科の報告（自己評価報告書；63～64 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： 国家試験の合格率、学外でのコミュニケーションスキル向上、メンタルケア、それと言語聴覚士は、口の動きを重視するけれどもそんな中での感染予防にも取り組んでいただいておりますが素晴らしいと思いました。2 年課程の限られた時間の中、成人、特に老人医学についての意識付けが大事だと思うことと、先ほどお話が合ったように大学を卒業して入学される学生や社会経験を積んで入学される方などいろいろな学生がおられる。現在勤めている病院でも理学療法士、作業療法士、言語聴覚士も勤務しているが、リハビリテーション科は病院の中でも生産性を求められる職種でもある。診療報酬改定の際には、言葉はよくないが水揚げを求められるため頭を悩ませる。待遇面でも自分が就職した時とは改善されているが、まだまだ理学療法士、作業療法士と比べると少数派であり、特に社会経験を積んでおられる学生さんはそういった部分の情報も入りやすいと思いますので、そういったところの知識も、今後伝達できたならと感じました。

教員： その辺りについては卒業生にも協力いただき、学友会とも連携を取りながら、学生指導にも邁進して行きたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

臨床工学専攻科

教員： 臨床工学専攻科の報告（自己評価報告書；65～66 ページ）

教育面/学生支援面/学科内 FD 活動/社会活動/今後の課題

評議員： お話を伺っているとカリキュラムの時間数も増えて大変そうだと聞いていましたが、病院実習を受け入れていると、他に職種の資格を持っているとか、大学を卒業しているとか優秀な学生が多いような印象がありますので、国家試験を合格させ、就職に繋げていただければと思いますので、引き続きお願いします。

議長 その他意見等がありましたらお願いします。

評議員： 全体として同じような意見が出ていますが、学校の方針として、専門学校ということで、今学生の数も減ってきて、学校も乱立してしまっていて、全体の医療スタッフもそんなには要らない、看護職以外は要らないという予想も立ってきているという中で、本校はどのような方針をもって学校をやっていくのかというのが前から知りたいところだったので、どのような路線、どのようなところに力を入れていくのか、宣伝するのであればメリットを言わないといけないところだと思いますので、どのように考えておられるのかお伺いしたいと思います。

学校長： 学校として 18 才人口の減少というのは前から分かっていたところですし、片や理学療法士、作業療法士もかなり過剰供給なってきた、後 20 年しないところで供給も需要の 1.5 倍近くなるとの予想も出てきている中、学校の運営としては、高等教育の修学支援新制度という、授業料減免と給付奨学金を国が負担する制度で、国としても学校の差別化を図っているところだと思います。学生の収容定員の充足率が満たされなかった高等教育の修学支援新制度から外れてしまう。そうなればますます学生が集まらない。作業療法士科の定員を減らし、言語聴覚士科も定員を減少させた。その辺りは、社会的な需要と収容定員の充足率も勘案しながら、定員を変更していつているのも一つのファクターです。もう一つは、20・30 年前に私がこの学校の非常勤講師として理学療法士科及び作業

療法士科の解剖学の教育を担当していましたが、そのころと比べると学生の学力低下が明らかです。昔と同じ教育を行っていたのではいけない。その中で、入学してくれば夢を育てるのが我々の使命ですから、その中で入学時に医療職に育てるのが無理と判断した場合は受け入れられないというところで、しばらくはこのような状態が続くのではないかと考えています。現在4年制志向が強い現状がありますので、4年制大学の場合は、しばらくは持つが、専修学校はこのような厳しい状況で自然淘汰されるのではないかと。その中で、この学校が生き残っていけるか重要な課題として考えていく必要があると思います。定員を少し減らしたとしても、国家試験の合格率だけではなく、卒業率を高めていく、最短の卒業率を高めていく。当然、留年生もなくしていくことになる。そのような教育をいかにしてキープしていくかが専修学校の生き残る道だと、そのことを合言葉に本校では教育に力を注いでいるのが現状です。私から言えば本校の教員は、大変頑張ってくれていると思いますし、心強く感じています。具体的に言えば社会的な動向とか社会ニーズを見ながら定員の見直しや学科の統廃合もその中で考えていくことだと、その方針でこの学校を運営しています。

議長 他に意見等がありませんので、本日の議事を終了させていただきます。円滑な進行の協力ありがとうございました。

学校長 長時間にわたり、皆様の貴重なご意見、激励をいただき有難うございました。今後の学校教育、学校運営などに生かしたい。
学生にもより良い学生生活を送ってもらえるよう改善の努力をしていきたいと思います。
本日は、ありがとうございました。

司会 学校評議会閉会の挨拶。本校に対する意見等があればアンケート用紙返送を依頼。